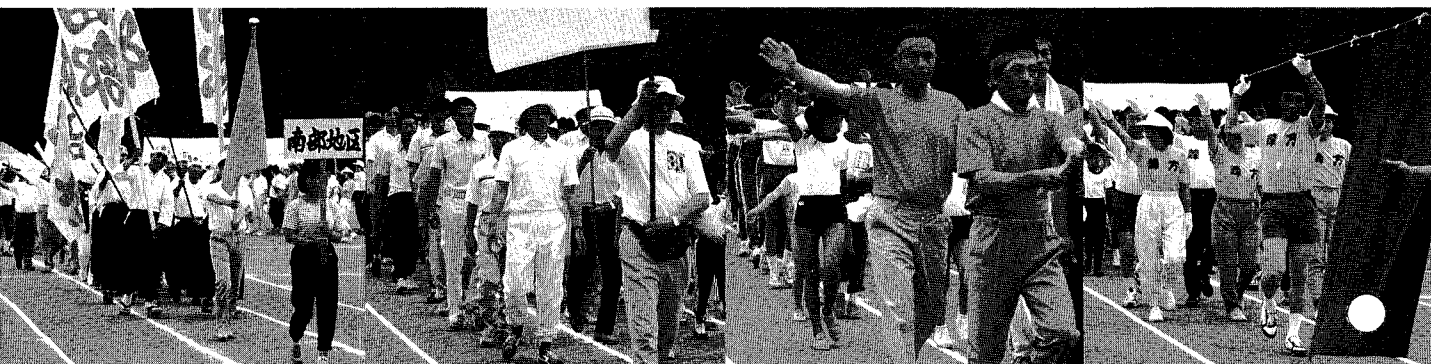


広報

まつだい 1989/9月

第358号

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 平成元年9月11日



紫チーム(松代B区)が初優勝

町の一大イベントの一つである町民体育祭も今回で十回目。夏には珍しく朝から曇り空のこの日に、朝から二、五〇〇人の人たちが会場に集まりました。午後からは雨のため競技は一部を残して中止とな

り、その時点で他をリードしていた松代Bチームが初の栄冠を手に入れました。いつの時代でも日本のどこでも運動会は開かれてきました。やってみれば楽しい運動会。しかし、今、町の運動会



である体育祭は過渡期にちやうどさしかかっています。「山あれば谷あり」、明るく楽しい町づくりのためにも、もう一度みんなで体育祭を見つめ直して見ませんか。

《人口の動き》

8月末現在

男2,701(+2) 女2,735(+6) 計5,436(+8) 世帯数1,570(-3)

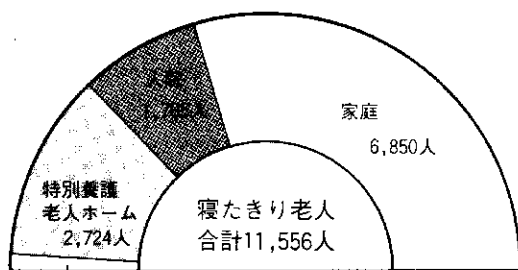
出生7 死亡6 転入17 転出10

新潟県の寝たきり老人数—1万人を超える—

新潟県の寝たきり老人は、11,556人。65歳以上人口の3.2%を占めています。

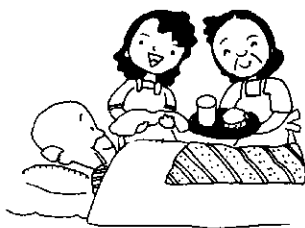
松代町の場合は寝たきり老人が46人で、1,206人の65歳以上人口の3.8%となっています。

●新潟県の寝たきり老人数



老人保健施設 277人

資料：平成元年新潟県老人現況調査



長寿社会を考える県民の集い東頸城地区大会が、去る八月十日、町総合センターを会場に行われました。

東頸城社会福祉事務所と松代町の主催で開かれたこの大会は、郡内の民生委員さんはじめ老人クラブ会長さん、福祉に携わる関係者ら約百人が集まり、急速に進む高齢化社会の諸問題について「これからの地域福祉のあり方」をテーマとし、地域福祉の大切さを理解するとともに、実際の体験を基に今後の地域福祉のあり方について考え合うものです。

基調講演で壇上に立たれたかなやの里療護園

この講演の後、松代町役場若月社会課長が司会・調整役となり、郡内でそれぞれの立場で福祉活動に取り組む五名の方々の意見発表が行われました。(要旨は次頁)

前園長の中村憲三さんは「ボランティアに思う」と題し、福祉業務の最前線で活躍されてきた経験を基に、ボランティア活動における心得や実情、障害者本人と親の心理等を心濃やかに話され、中でもボランティア活動を長続き、充実させるための十ヶ条として「自分の関心のあることから始める、細く長く無理をしない、約束を守ること」などを実例を上げながら話されました。

(写真)

豊

か

な

長

寿

社

会

を

み

ん

な

め

力

で



健康は自分で守る

強い信念で

郡老連会長の立場から

竹内正文さん(安塚町)

国をはじめとする行政機関が高齢者対策に力を入れてくれることに感謝するとともに、私達老人は一人ひとりが自分の健康は自分で守るという強い信念でこれに答えなければならぬ。

我国の平均寿命は男性が75



老人が頼れる

体制づくりを

訪問保健婦の立場から

数井和代さん(松代町)

割合も八%から二十一%と三倍近くになっている。

こうした中で老人を取り巻く問題が多く健康、保健問題に携わる者にとり切実に感じている。

現在、町が行っているリハビリ教室は、卒中後遺症の方を対象に、国立犀潟病院の協

して感ずるのは、一、今日を築きあげた功労者である老人を尊敬し、大切にすることを育てることが重要である。二、このためには小さい子供の頃から仏壇や神棚にお参りする習慣をつけさせる。三、家庭の団らんと良い地域づくりを。四、安塚町は高齢者地域ふれあい事業の指定を受け、菱里と中川老人クラブの二地区を選定し、友愛訪問活動を実施するが、これを基に町内全域に広げたい。五、行政側でも各施設をはじめ年金、医療等の充実をお願いしたい。

また、我々老人は寝たきりにならないためにどのようにしたら良いのかというと、一、行政の行う健康診査を進んで受け、自分の体について良く知ること。二、医師の指示に従うこと。三、老人クラブに進んで加入し行事に参加して仲間づくりをする。四、仕事を分担し責任を持つ。五、平らな心で家庭の中心になり、良い仲間とともに友情を広げ地域に役立つこと、と考えている。

情が明るくなりイライラしなくなった、友達ができた、上手にしゃべれるようになった、などの意見が聞かれる。

また、浜海教室は昭和六十三年に家庭看護教室を開き、その時の反省会で参加者の間から「託老」を町で実施してほしいと要望があったものの、ボケ老人の実態を把握してい

なかったため立ち消えとなった。調査が進むにつれ、家族の悩みが深刻で介護や医療の問題をはじめ、さまざまな問

題があることがわかった。

一方、婦人会の有志の方々がボランティアで協力するので町側でも託老を実施してほしいとの陳情が出され、五十人の方々が集まり犀潟病院と保健所の協力で浜海教室と称して年七回実施する運びとなった。

この二つの事業を通し老人と接する機会が多くなり、話を聞いてみると、将来も生まれた所で安心した生活がしたいという答えが返ってくる。こ

松代町は過疎と高齢化が進み、昭和三十五年一三、四九一人の人口が昭和六十三年には五、四九五人と三十年間で約三分の一近くまで減り、六十五歳以上の老人人口の占め

のことから、老人を取りまく行政サイドと地域がチームを組んで老人の希望がかなえら



れるようなお手伝いをするこ
とが大切だと考える。
体も心も健康な時はいいの

だが問題が生じた時に相談で
きる窓口、リハビリ教室や浜
海教室の対象となった時にい

つても迎え入れられる体制づ
くりが、今後、更に深刻にな
る高齢化社会に向けて急務な

問題と考える。

老人・障害者が

安心して暮らせる村づくりを

社会福祉協議会の立場から 野中 佳代子さん (浦川原村)

福祉関係者の枠を越え、地域
の問題として考え受け止めて

きなかったと反省している。

らないと感じている。そして
行政と一体となり、寝たきり
痴呆性等の要介護者の早期発
見とニーズの把握に努め、相
談体制の整備、緊急時の対応、
障害者や家族を取巻く環境の
整備から住民参加のネットワ
ークづくりを進めていくこと
が杜協の大きな役割であり、
同時に住民相互の助け合いを
基調とした在宅福祉対策の展
開も杜協に果せられた大きな
課題であると考えてる。

実施している。これはボラン
ティアの手作りによる弁当を届
け、日頃社会的に接触の少な
い寝たきりの老人に孤独感の
解消と激励を目的にふれあい
の場づくりに取組んでいる。
心の温もりの感じられる弁
当の配食活動を通し、福祉の
眼とボランティアの心を少しづ
つ育てていきたいと考えてい
る。

地域福祉、在宅福祉の必要
性が全国的に言われるように
なって十年経過した。急速に

高齡化社会」をテーマに福祉
の集いを開催した。村内初の

心して暮せるようにというノ
ーマライゼーションと福祉は

暮しの老人を対象に、慰労と
孤独感の解消を目的に、六十

協がまとめ役となって取り上
げ、老人や障害者の方々が地
域で安心して暮せるように、
また一般住民の方々が支え合
って見守り合える地域にして
ゆきたい。そんな福祉の村づ
くりをしてゆきたいと考えて
いる。

進む人口の高齡化の波の中で
援護を必要とする要因は複雑
多様化し、高齡者の福祉問題
を中心にようやく地域におけ
る普遍的な問題として取り上
げられるようになった。

浦川原村においても六十五
歳以上の人口は十七・六%を
占め、既に超高齡化社会に突
入している。この高齡化社会
からくる様々な問題を行政や

中での推進されるべきだと提唱
されている今日だが、その主
体となるのは住民皆さんでは
なからうか。住民自ら関心を
持ち行動することが地域福祉
の原動力になると考えている。
社会福祉協議会はその火付け
役となり住民の方々のまとめ
役となって、住民の活動を盛
り上げ支えていかなければな

食サービスは六十二年度より

後を託すことに希望と夢をつ
ないで生きぬいてきた今の老
人が、時代の変化や価値感の
違いから、「私の人生設計、こ

給食サービスで

心のつながりが

在宅ボランティアの立場から 武田 吉蔵さん (大島村)

豪雪と過疎を宿命のように
半ばあきらめの気持ちで先祖

から受継いできた田畑を耕や
し、子供の養育に全てをかけ

後を託すことに希望と夢をつ
ないで生きぬいてきた今の老
人が、時代の変化や価値感の
違いから、「私の人生設計、こ

「んははずではなかったのに」とホゾをかむ思いで年を重ねているお年寄り、追いうちをかけられるような老人人口の急増の現実には胸を痛めながら暮らしている老人が大島村で



援護を要する老人の福祉は、在宅福祉と施設福祉に分けられる。最近、国の方針で在宅福祉が重視されてきて、在宅三大事業、在宅三本柱などと言われるようになった。その三つについて説明すると、一、ホームヘルパー(家庭奉

も多く見受けられるようになった。

昭和五十五年、生きる喜びと夢を明日につなげるために、お年寄りに少しでも喜んでもらえたらという願いからボランティア活動による老人給食が始まった。村と杜協と民生委員さんの働きかけでボランティア活動の参加を呼びかけたところ、地域の婦人会や部落の人たちの協力で、百名を超える善意の参加者を見るこ

ことがかりで、まず手始めにボランティアと民生委員の人たちで先進地の川西町の老人給食事業を視察した。そして、村内の老人給食を受ける世帯の選定、配食ボランティアの確保、調理場の整理、栄養士による老人向け献立計画など村杜協、民生委員とボランティアの協力で三十六食分の大島村老人給食事業が発足した。

長い人生を生き抜き、老後を一人寂しく暮らす一人暮らしの老人、若い人と離れ寄りそって暮らす老人夫婦の家庭とそれぞれの生きざまの中で、月三回の心のこもった弁当で少しでも心が通い合うことができたらとのボランティアの願いが、給食を受けた老人世帯の喜びと感謝の気持ちとなって表われてくるようになった。

最後に、一人一人の小さな善意が手をつなぎ、輪を広げることにより、地域に活力を与え、明るく幸せに暮らせる村づくりを目指して、ボランティア全員が一日でも長くこの活動を続けられることを願っている。

要援護老人のための

在宅福祉事業の利用を

行政の立場から

北島典子(社会福祉(事務所))

仕員)派遣事業

一人暮らしや寝たきりなどのお年寄りがいる家庭に、介護や身のまわりのお世話をしたり、相談にのったりするヘルパーさんを派遣する事業で、介護を必要とするおむね六十五歳以上のお年寄りのいる家庭が対象となっていて、町村の役場から要請のあった家庭へヘルパーさんが派遣され

る。この事業の利用料金は、所得に応じ一時間あたり0円から六五〇円となっている。

二、短期保護事業(ショートステイ事業)

寝たきりや痴呆性のお年寄りをお世話している家族の方が、病氣、冠婚葬祭、出産、旅行などにより、一時的にお世話ができなくなった時に、一定期間老人ホームが代わ

てお世話をしている。

おむね六十五歳以上のお年寄りで、家庭内で寝たきりになっている人が対象で、大島村にある「ほくら園」など特別養護老人ホームが家族に変わってお世話をしてくれる。

これらの利用料金は、一日、一八九〇円となっている。

三、デイ・サービス事業

身体が弱いなど、日ごろお世話を必要とするおむね六十五歳以上のお年寄りを対象に、日常の動作訓練、入浴、食事などいろいろなサービスを受けることができる。利用

料金は、一回当り一〇五〇円。また、「ほくら園」では同じような人たちを対象に、入浴・食事サービスを送迎つきで週一〜二回、入浴と食事サービスを併用する小規模デイ・サービスを行っている。これらの利用料は送迎つき入浴料が一回八二〇円、食事サービスが五八〇円で利用できる。

このような制度やサービス等を申請したり、詳しいことが知りたい場合は、地区の民生委員さん、役場の福祉の係か保健婦、福祉事務所へ問い合わせいただきたい。

松代町の鳥

シリーズ ③①

ムクドリ

松 永 洸

短い尾にオレンジの長めの嘴と同色の足、飛ぶと先のがつた三角形の翼で特徴のある体形をしているムクドリは、松代町では「ギヤーギヤー」と呼ばれ、普通に見られる人間に身近かな鳥の一種です。ギヤーギヤーという名前は、その鳴き声からついたものと思います。

ムクドリは、スズメ目ムクドリ科に分類され、日本にはムクドリの仲間が本州中部以北に夏鳥として渡来するコムクドリ、迷鳥としてこれまで一回記録のあるシベリアムクドリ、数回記録のあるカラムクドリの四種がムクドリ科の鳥として日本鳥類目録に記録されています。松代町には、本種とコムクドリが生息しています。

有名で、旧農林省で本種の食性調査をしたところ、一羽の胃から二〇〇匹のハエの幼虫を食べていたという結果が報告され、また一羽のムクドリは一日平均して八〇匹位のメイチュウを食べると言われています。

今から十三年位前に新潟市内で勤務していた際、アパート裏の芝生に十数羽のムクドリが飛んで来て、芝生の上を歩きながら芝生の中に嘴を差し込んで中から虫のようなものを引っ張り出して食べているのを観察しました。ムクドリが飛び去ってから芝生を調べてみると、直径二センチ、高さ一センチ位の土が盛り上がったところがあり、ムクドリはその中心部に嘴を差し込んで、中から一センチ位の白っぽいウジを取り出して食べていることがわかりました。

ムクドリは好んでハエの幼虫を食べることが知られており、この時食べていたのはハエの仲間の幼虫を食べていたものと思います。こんなに害虫の幼虫を食べてくれるムクドリも、一時期やつかいなことがあります。それは果樹園のサクランボ、ブドウなどを大群で荒らすことがあるのです。餌としてこのほかに稲の切株にひそむニカメイチュウやバツタ、イナゴ、ツトムシなどを好んで食べます。ムクドリの被害は果樹だけではなく、営巣場所が樹洞や人家のはめ板等に造巣し子育てをしますが、本種とドバトに多く寄生する「トリサシダニ」を持つており、人体につくとダニが小さいため、特に乳児の場合は診断がむずかしく診断が遅れると死に至る場合もあるということです。筆者は、これまで一〇数年鳥類標識調査を行っています。時々ダニを寄生させた野鳥を捕獲することがあります。(多くの場合鳥自身身が砂浴び、水浴等で寄生虫をとっています。)さてムクドリと言いますと夕焼け空に、

秋の全国交通安全運動

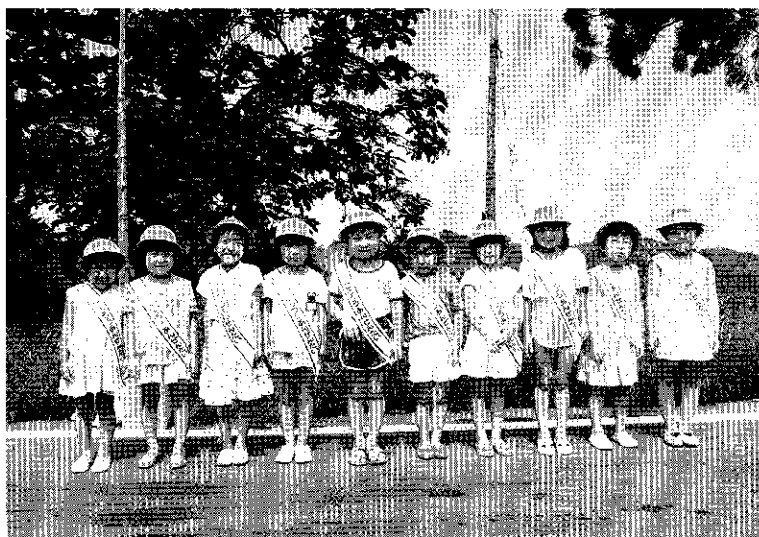
9月21日
～
9月30日

「スローガン」
「安全は ゆずる気持ちと 待つゆとり」

重点
●高齢者の歩行中、自動車乗車中の交通事故防止
●若年運転者による無謀運転の防止

●正しい方法によるシートベルトの着用の徹底
この機会に正しい交通ルールと交通マナーを身に付け、悲惨な交通事故を一件でも松代町から減すよう交通安全に努めましょう。

「運転手のみなさん 安全運転 お願いします」



▲ 蒲生保育園児のチビッコ交通安全隊



ムクドリ

ゴマ粒を散らしたように、数千羽あるいは一万羽というムクドリの大群の写真を見たことのある人も多いと思います。このようにムクドリは大群でネグラを作る習性を持っており、ネグラの近くでは相当の喧噪となります。このネグラのため、糞や鳴き声が公害だという人もいます。前にも書きましたが果樹に対する被害防止のため、ネグラを作らせないようにする方法などを研究し、目玉模様、爆音などいろいろあるようですが、最近筆者の知人がムクド

リのネグラを作らせないようにする方法として、野鳥の全県支部報にムクドリの鳴き声（警戒音、悲鳴など）をテープにとり再生して流すことにより防止することができるという報告をしています。この方法は他の鳥獣にも役立つのではないかと思います。ネグラについては繁殖期を除いて、秋のネグラが一番大きいようです。このネグラの様子を、辻村直という人が

銀杏の高木に

群るる棕鳥の鳴く音喧し
月の照る夜は

と歌っており、ムクドリのネグラの様子をよく表わしていると思います。

松代町では、普通に観察される鳥なのですが、冬期間特に降積雪期には姿を見ることが少なくなります。筆者が勤務した三年間、冬期間に姿を見たのは数回で羽数も少なく松代町のムクドリは冬期間少雪地帯へ移動しているものと思います。全国的に本種を見た場合東北地方の多雪地帯のものは本州以南に移動することが知られ、中には東南アジア方面に渡る個体もあることから、松代町では一部留鳥で一部渡り（移動）するものと思います。三月中旬にはあちこちの電線で繁殖活動の準備をしているムクドリを見ることがができます。松代町のムクドリはどこまで飛んで行くのでしょうか。行き先がわかれば楽しいと思います。最後に、若山牧水の歌でこの項を終わります。

二方に

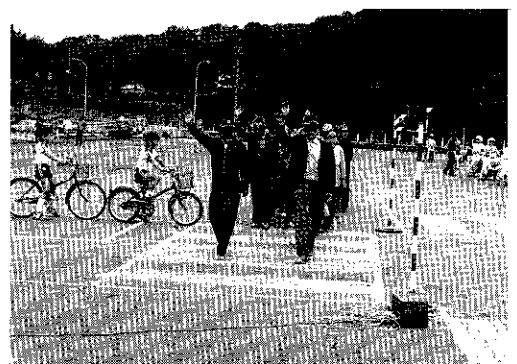
飛びわかれたる棕鳥の
群の一つは

槻にくだりぬ

高齢者の交通安全旬間

9月11日 ～ 9月20日

お年寄りの関係する交通事故が増えています。お年寄りが交通事故を起こさない、また遭わないよう、家庭、地域ぐるみでお年寄りの交通事故防止をすすめましょう。



横断歩道は手を上げて
(奴奈川地区交通安全教室)

乾燥機による火災をなくそう

- 機械の正しい取扱方法を確認しましょう。
- 火をつけたままで給油しないようにしましょう。
- 周囲は整理し可燃物を置かないようにしましょう。
- 使用前に必ず点検をしましょう。



申込み下さい。

「法務総合相談所が」

開設されます

みなさんの家庭や社会生活の中で、差別や虐待に苦しめられたり、名誉や信用を傷つけられたり、土地・建物の取引、金銭の貸し借り、交通事故の損害賠償、いじめなどの問題で困っている方は、遠慮なく相談して下さい。

○とき 九月二十七日(木)

午前十時から午後三時まで

○ところ

町総合センター

○相談員

人権擁護委員、法務局職員

○相談は無料で、難しい手続きはいりませんし、相談の内容についての秘密は絶対に守られますから、安心してご利用下さい。

地域づくり提言論文

作文コンクール

自ら考え自ら行う地域づくりを推進するため、次のとお

り地域づくり提言論文・作文コンクールを実施します。

○主催 新潟県

○テーマ 「二十一世紀・輝く新潟のために」

○募集内容 個性豊かで活力ある明日の新潟県を築くために役立つと考えられる具体的な地域づくりの提案。例、「雪を利用したまちづくり」「高齢者の住みよい地域づくり」等

○応募資格 県内に住んでいる方ならだれでも。

○応募方法 四百字詰め原稿用紙三枚以上二十枚程度。

別紙に住所、氏名、年齢、職業、電話を記入。

○締切り 平成元年十月十四日(土)(当日消印可)

○表彰 ふるさとオピニオン賞十名(賞状、賞金十万円と記念品)

○その他 応募は一人につき一作品とし、作品は返却しない。

○送付・お問合わせ先 〒950 新潟県新井市四ノ宮

新潟県企画調整部克雪・地域振興課内「地域づくり提言論文・作文募集係」

9月22日(金)

午前9時～午前11時まで

午後9時～午後11時まで

9月22日(金)

午前9時～午前11時まで

午後9時～午後11時まで

9月22日(金)

午前9時～午前11時まで

午後9時～午後11時まで

9月22日(金)

「障害者集団選考会を」

開催します

障害者の雇用の促進を図るため、就職を希望する障害者と障害者の雇用見込みのある事業所との集団選考会を開催します。

事業主、障害者の皆様の参加をお待ちしています。

○とき 九月二十二日(金)

午前九時～十二時

○ところ 上越文化会館

※参加希望者は事前に上越公共職業安定所(☎0255-2316121)へご連絡下さい。

○ところ 上越文化会館

※参加希望者は事前に上越公共職業安定所(☎0255-2316121)へご連絡下さい。

○ところ 上越文化会館

※参加希望者は事前に上越公共職業安定所(☎0255-2316121)へご連絡下さい。

○ところ 上越文化会館

※参加希望者は事前に上越公共職業安定所(☎0255-2316121)へご連絡下さい。

○ところ 上越文化会館

※参加希望者は事前に上越公共職業安定所(☎0255-2316121)へご連絡下さい。

○ところ 上越文化会館

※参加希望者は事前に上越公共職業安定所(☎0255-2316121)へご連絡下さい。

○ところ 上越文化会館

※参加希望者は事前に上越公共職業安定所(☎0255-2316121)へご連絡下さい。

○場所

町総合センター

○持ち物

・運転免許証

・写真一枚

・収入証紙 二四〇〇円

・協会費 一五〇〇円

・郡安協発行のお知らせハガキ

※大型免許・二種免許をお持ちの方は、深視力検査ができません。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

※町の行事カレンダーには、九月十五日となっています。

が訂正させていただきます。

「交通事故のご相談は」

専門の相談員が無料で相談に応じています。お気軽にどうぞ。

(平日)

午前九時半～午後四時四十分

(土曜日は休み)

○弁護士相談日 毎週水曜日

午後一時～四時

電話での相談は025-225-1851(休)日本損害保険協会 新潟自動車保険請求相談センター

9月24日(日)～9月30日(土)まで

9月24日(日)～9月30日(土)まで

9月24日(日)～9月30日(土)まで

「地震体験車「なまず号」が」

やってきます

一度乗ってみてはいかがですか。

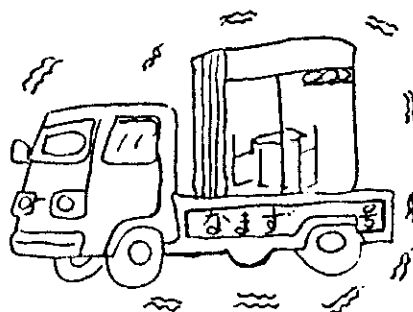
体験希望の方は左記場所へお集り下さい。

○九月二十六日 14時～15時

孟地小学校

○九月二十七日 10時～11時

まつだい町農協本所



「結核予防週間」

9月24日(日)～9月30日(土)まで

「結核はいつもまさかのくしかえし」

9月24日(日)～9月30日(土)まで



裸祭り で村おこし

フッショイ

フッショイ

(犬) (伏)

八月十七日、夜、犬伏で伝統の裸祭りが行われました。村の真中にある広場に、夜八時になると下帯一つだけの男衆五十人が集まり、数年前

に地元の犬さんの手で造られたという立派なみこしと合わせ、七つのみこしをそれぞれ分れてかつぎ、子どもたちが打ち鳴らす裸太鼓に送られ

みそぎを済ませ、元気な掛け声が響きわたる。

浜海川のみそぎ場へ。出会橋のたもとを流れる浜海川に入りみそぎを済ませ、再びみこしを担ぐと男衆の熱気と掛け声はより高まり、村の人たちが総出で迎える広場にもどると祭りも最高潮に。元気のいい掛け声が村中に響き渡っていました。

▼川に入ってお清めをする



▼神社の境内でお祓いを受ける



「わがむらわがまち 自慢の逸品まつり」が

開催されます

近年、村おこしや一村一品運動で特産品づくりが活発化しており、新潟県内においても各市町村で様々な取組みが行われています。

開拓を図るため、県主催で「わがむらわがまち自慢の逸品まつり」が開催されます。県内各地域の市町村からバラエティに富んだ特産品が展示即売されるほか、県下のミクス大集合や特産品グランプリなど楽しいイベントも予定されています。

松代町からは、けんちん汁本舗の「ふるさと料理」と松代そば善屋の「よもぎそば」等が出品されます。

会期 平成元年9月21日(木)から26日(火)まで
会場 新潟市 大和新潟店

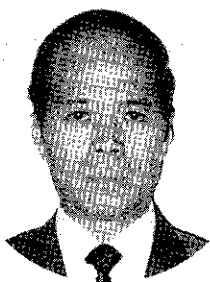
自衛官に関する ご相談

お気軽にどうぞ

左記の方々から引き続き今後二年間自衛官募集相談員としてお骨折りいただく事になりました。

高野さんも南雲さんも子供さんを自衛官にされておられ、自衛隊の実情に明るく、親身になって相談にのって下さいますので、皆さんお気軽にご相談下さい。

相談員はこんな人です。



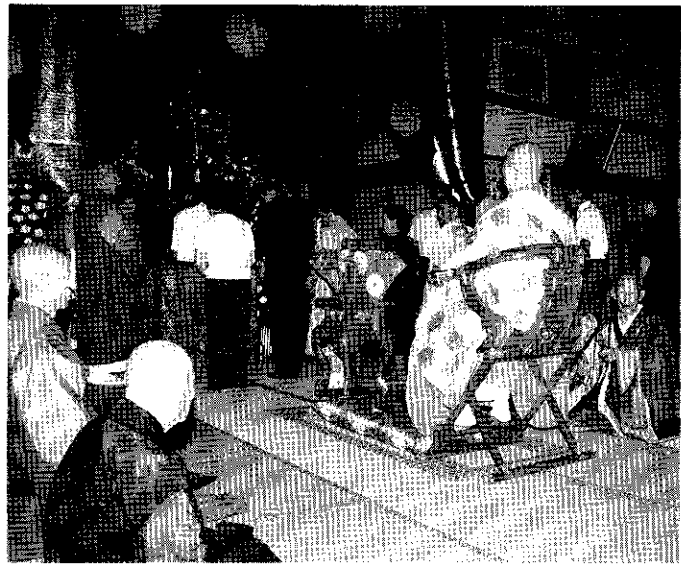
南雲壮介さん(室野)
電話 8-2117



高野亀次さん(松代)
電話 7-2102

平和への誓い新たに慰霊祭

町会
松代遺族会



先の大戦で尊い生命を犠牲にされた五〇九柱の御霊を祀る合同慰霊祭が、去る八月二十五日、松代少林寺において行われました。(写真)

松代町遺族会主催(会長石野英二さん)によるこの慰霊祭に、町内から二七〇人の遺族の方々と、知事代理の

東頸城社会福祉事務所長、高鳥衆院議員、関谷町長、郡連合遺族会長他多数の来賓が参列しました。

米賓の弔辞の後、参列した

遺族一人ひとりが祭壇に向つて焼香し、亡き家族を偲ぶとともに平和への誓いを新たにされていました。

参加しよう

六人制バレーボール大会

第10回町長杯争奪バレーボール大会を次の日程で実施します。

日 時 10月10日火曜日

午前9時競技開始

場 所 松代町総合体育館

参加料 一チーム二千円

(協会に登録してあるチームは無料)

申込先 松代町総合体育館

事務室又は、役場総務課斎藤へ

申込み〆切 9月30日

問合わせ先

松代町総合体育館

事務室(七一三七五二)

編集後記

関谷町長はじめ助役と各課長が皆さんの地区に出向いての町民対話集会は、福島・奈良立地区を最後に今年予定した分は終わりました。今回の対話集会を通してこの会場からも出た質問の一つに、芝峠温泉の堀削状況を問う発言がありました。町民の皆さんに情報を流す立場としてこの問題に触れずじまいだったことを反省していますが、どうやら今月号が皆さんのお手元に届く頃には何らかの結論が出ているはずです。来月号では是非この朗報をお知らせしたいものだと考えています。

戸籍の窓口

(7月21日・8月20日受付)

幸せ多い人生を(結婚)

相澤一行・クラベロデムルデ

ムラオ・クイーン

(松代・せいえん)

小島幸司・李 先順

(天伏・朝日屋)

山本道雄・李 榮善

(天伏・隠居)

げんきなよい子に(出生)

柳 真奈美・正勝・かよ子

(長女・松代・宗吉)

小堀拓佑・隆至・マリテス

(長男・浦生・細川)

横野恵大・良一・佐和子

(長男・松代・派出所)

柳 太志・護・良枝

(長男・松代・黄金屋)

小嶋優介・務・正美

(長男・天伏・教団)

柳 裕太・二郎・ウメノ

(長男・菅刈・善念)

内田久嗣・道雄・宣子

(長男・松代・善宗塚住宅)

井上夏未・清隆・和枝

(三女・寺田・中屋)

ご冥福を祈ります(死亡)

池田 榮太郎 77歳

(田野倉・大横)

宮澤 利太郎 80歳

(小尾丸・かりぼし)

高橋 トミ子 67歳

(田沢・福住屋)

相澤 キク 68歳

(太平・善次郎)

萬羽 春次 64歳

(会沢・久布工門)

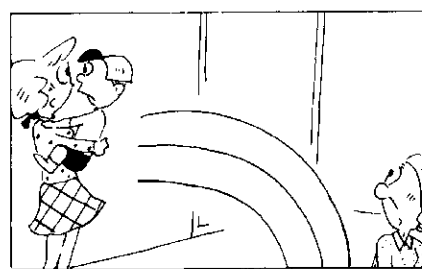
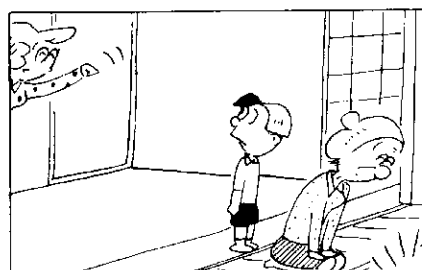
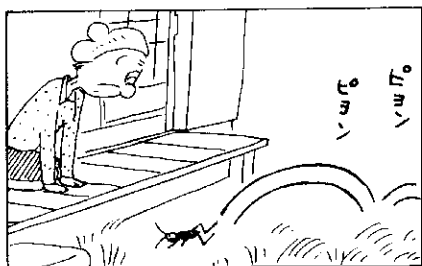
柳 熊治 68歳

(芋島・吉兵衛)



君がさわ

西村 宗



文芸



しづみ句会

幼な子の手まね足まね盆踊

六花

釣池や花虎杖を日除けとし

紅茶

雷は東にそれて穂肥まく

去水

甚平を土産に娘里帰り

淡水

村捨てし縁者の墓も盆掃除

枯水

なだれ咲く萩今見頃バスの旅

公明

蒲生句会

山頂は十五夜蜻蛉ばかりかな

鐵堂

これはまたなんと強か茄子辛味

月日

受け継ぎし田を畑に替え花南瓜

耕山

無雑作に枕が二つ夏座敷

折人

この炎暑産声あげしみどり見よ

泥水

ブナ林蟬鳴く里の露天風呂

喜沙

笕水に西瓜冷やして孫を待つ

八千代

迎え火を種子火に子等の火花かな

たつお

今朝の秋鎌にからまる草の色

瀬舟

短歌生き甲斐

宮沢和風

丹精し重き稲穂を叩く雨

倒伏せぬかと恐れつつ見る

初めての空の旅なりはしゃぐ間に

瀬戸大橋は島に隠れぬ

夕映えの峰のむこうが我が町か

長旅終えてバスは近づく

いそいそとゲートボールに行く老が

わが生きがいとぼつりつぶやく

野になる実

カラスウリ

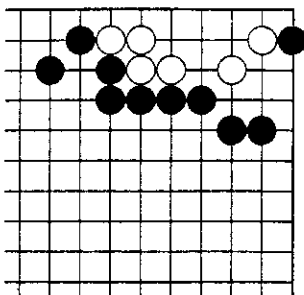


草全体に白っぽく荒い毛があつて、茎は細く長いつるになり、木からぶらさがったりからみついたりして茂みをつくる雌雄異株の多年草です。

葉には柄があり、水かきのついた手をひろげたような形と大きさをしています。

果実は長形五七種の細長いたまご形で、晩秋赤く熟してつるにぶらさがっている姿は、遠くからでも目につきます。カラスの好物なのでこう名づけられたとか。キツネのまくら、ヤブキウリなどの別名もあります。

詰碁



出題 本因坊 武宮正樹
黒先白死・9手まで
・ヒント：3手目が好手、難問です。
5分で3段、3分で高段者。

黒1は当然の一着ですが、次の黒3はこれに限り、これでオキオシを防ぎ、以下9手目まで。

